

科学技術の潮流

JST研究開発戦略センター

101

ロードマップ

ニューヨークのイー
スト川沿いに位置する
国連本部。コロナ禍以
前は学童たちが連日訪
れ、歴代事務総長の写
真が並ぶロビーにて、
国連の歴史や役割を教
わる姿があった。国連
の持続可能な開発目標
(SDGs) 達成に向
けた科学技術イノベー
ション(STI)の活
用のため、この国連本
部では毎年5月にSTI
フォーラムが開催さ
れている。

世界中から政府、産
業界、学术界、非政府
組織、国際機関などが
集い、SDGsに向け

ロードマップの策定と
実践である。

ロードマップの必要
性は、2016年の第
1回STIフォーラム
以来毎回議論されてき
たが、SDGsへの遅
れを挽回し、計画を加
える。

4手段統合
これは単なる技術口
6カ国(ガーナ、ケニ
ア、エチオピア、イン
ドネシア、セルビア、ウクラ
イン)で始まった。日
や生態系の破壊、経済

この行動、科学技術の
本はガイドブックの作
成に貢献し、パイロッ
トプログラムのパート
ナー国として協力して
きた。

4手段統合

各国は食料、健康、エ
ネルギ、産業育成な
どの優先課題を取り上
げ、それぞれの状況や
伝統、文化に配慮し
て、これに準拠したパ
ットプログラムが
日本は現在、SDG
ランキングで世界17

たSTIの取り組みや
教訓を共有し、連帯感
を醸成してきた。コロ
ナ禍により今年はおん
ライン開催となった
が、例年と変わらぬ熱
い議論が交わされた。
17の開発目標の進捗
状況とともに主要テ
ーマとなったのが、SD
Gガバナンス、経済と
アイナンス、個人と集
イナ)で始まった。日
や生態系の破壊、経済

科技イノベでSDGs達成

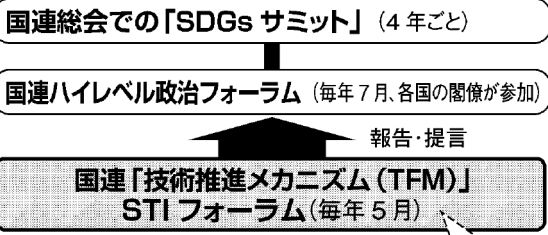


科学技術振興機構(JST)顧問

中村 道治

大阪府出身。日立製作所執行役員社長、取締役などを経て、11年-15年科学技術振興機構(JST)理事長。現在同顧問。今年5月まで3年間、国連10人委員会委員を務める。日本工学会アカデミー会員。

科学技術イノベーション(STI)の活用



主要議題の一つ: 「STI for SDGs ロードマップ」

- 技術のみならず、政策、ファイナンスなども合わせた包括的なロードマップ
- マルチステークホルダーにて策定
- 進捗をモニタリング
- TFMにて「ガイドブック」作成、各レベルのロードマップ作成支援、パイロットプログラム推進

JST「SDGs 達成に向けた科学技術イノベーションの実践」(21年3月)より改変

筆者が国連「10人委員」を務めた3年間で

(金曜日に掲載)

の停滞、格差の拡大、も、日本への期待を肌
身を感じてきた。最終
的なイノベーションの
担い手は企業だが、政
府、地方行政、大学、
市民社会との連携が不
可欠だ。持続可能で誰
一人取り残さない社会
の実現は、現在に生き
る我々全員の責務であ
る。